



感染症の予防は、「手洗い」、「清潔」、「栄養をとること」など、生活の中で意識せず行われていることが効果的です。子どもが、日常生活を規則正しく過ごし、その中で感染症予防についても習慣化できるように、ゲームを利用した教材をつくりました。家族や友だちとカードゲームで遊ぶことによって、基本的な生活習慣や感染症の予防に効果のある行動について学習できるようになっています。

カルテットのおそびかた

カルテット (quartett、ドイツ語)とは、もとはイタリア語からきた言葉で、4つ組、4つ揃いを意味します。ゲームのカルテットは、ドイツではよく遊ばれているトランプゲームの一種で、4枚の絵札を集めて遊びます。

- ・ 人数は3～5人くらいが適当です。多くなってもゲームはできますが、難しくなります。
- ・ カードは32枚で、8つのグループ(マーク)に分かれています。カードは、マークと色または言葉で区別できるようになっています。裏面のカード一覧を参照してください。
- ・ 全部のカードをよく切って、全員に1枚ずつ裏向きにして全てのカードを配ります。
- ・ じゃんけんで最初のプレイヤーを決め、その人から順に時計回りで進みます。
- ・ プレイヤーは、メンバーの誰かを指名して、カードリストを参考に、自分の必要なカード(例えば「ぼうしの赤」、「ぼうしのハンカチ」)を持っているかどうかたずねます。
- ・ 聞かれた人は、そのカードを持っていたら渡さなければなりません。このときに「うそ」はつけません。
- ・ カードをもらえた場合は、その人が続けてプレイできます。はずれた場合は次の人に交代します。
- ・ 同じマーク(例えば「ぼうし」)の4枚組ができたなら「カルテット」と言って自分の前に並べてください。
- ・ 全員の手持ちのカードがなくなった時に、もっとも多く4枚組を自分の前に並べている人が勝ちです。

(ルールの補足)

- ・ 手持ちのカードがなくなってもゲームに参加し続けることができます。また逆に、手持ちのカードがなくなったら、そのプレイヤーは続けて参加できないようにするルールにもできます。

● 遊び方ムービー : HYPERLINK "<http://www.youtube.com/watch?v=1-eWwmGz6WE>"

(「食の安全豆知識」カルテットゲーム)

ゲームのあとで

カードをマーク別にカードの絵柄の線がつながるように並べてみましょう。カードの解説(下段)にはどのようなことが書いてありますか。そのカードを取った人が、読み上げてみてください。そして、自分の毎日を振り返ってみてください。また、カードをぬり絵にして遊んでも楽しいでしょう。

カルテットいろいろ

日本語のカルテットでは、「パンデミックフル」(インフルエンザと新型インフルエンザ)、「WHAT IS AIDS?」、「食の安全豆知識」、「むし歯予防カルテット」などがあります。